

年度	R3
シートNo	40
シート名	高年齢者支援

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次総合計画	基本目的	II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち
	施策目的 (上位目的)	06 高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる
	施策の方向	II-06 高齢者の持つ豊かな知識や経験、技能が発揮できるよう、学習や交流の機会、場所の整備など環境づくりに取り組むとともに、就労機会の充実やボランティア活動など、社会参加の促進と自立した生活の支援に努めます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
		5.0	2.0	0.0
すべてのシートの合算		11.0	4.5	0.0

款	項	目	事業名	予算額
3	4	1	施設入所者支援事業・敬老の日関係事業ほか	144,338 千円
3	4	2	生きがいと健康づくり事業	23,495 千円
3	4	3	高齢者在宅サービス推進事業	54,354 千円
3	4	4	老人福祉センター運営事業	5,391 千円
				事業
				事業
				千円
合計				227,578 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
高齢者が充実した生活を送るためのしくみが整っている。	在宅サービスの利用率	20	18.57	19.09	18.10	16.23	↑	×	在宅サービス利用率＝サービス利用者数÷65歳以上の高齢者人口

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	在宅福祉サービスの充実	サービス利用者数	4,145	3,926	4,104	3,998	3,600	↑	×	コロナの影響あり
0101	日常生活用具給付	日常生活用具給付者数	533	410	377	357	304	↑	×	
010101	尿漏れバット									
010102	火災報知機									
010103	電磁調理器									
010104	自動消火器									
010105	シルバーホン									
0102	高齢者福祉サービス	高齢者サービス利用者数	3,612	3,516	3,727	3,641	3,296	↑	×	
010201	介護慰労金									
010202	緊急通報装置の支援									
010203	はり、きゅう、マッサージ施術助成									
010204	配食サービス支援									
010205	寝具乾燥殺菌事業									
010206	在宅ねたきり高齢者等出張理・美容サービス									
010207	救急医療情報キット配布									
010208	認知症高齢者権利擁護事業									
010209	成年後見制度利用者補助									
010210	介護用車両購入費等補助									
010211	住宅改修助成									
010212	いきいきタクシー券									
010213	寿証発行									
010214	市民後見人養成事業									
事業名	高齢者在宅サービス推進事業	年度別決算・予算額(千円)	44,925	44,603	44,466	39,273	39,877	54,354		
02	地域活動と交流の場の確保	参加合計人数	23,999	19,949	19,035	17,042	9,961	→	×	コロナの影響あり
0201	寿連合会、地区連、単位寿会の活動支援	会員数	3,792	3,654	3,609	3,404	3,264	↑	×	
0202	コミュニティサロンの活動支援	参加者数	1,234	1,310	1,297	1,248	1,147	↑	×	
0203	シルバー人材センター活動助成	会員数	327	311	306	310	300	→	×	
0204	スポーツ広場設置補助	利用団体数	473	473	469	457	430	↑	×	
0205	老人福祉センター運営及びセミナー・教養講座等の開設	参加者数	18,093	13,699	12,753	11,623	4,820	→	×	H29～貸館等の利用者を含む
事業名	生きがい対策事業	年度別決算・予算額(千円)	30,616	9,789	28,334	27,515	29,229	23,495		
03	敬老思想の普及	表彰・対象者数	1,825	1,831	1,702	1,831	2,182	↑	×	コロナの影響あり
0301	敬老祝金の授与	対象者数	1,066	1,087	1,014	1,120	1,221	↑	○	
0302	合同金婚式	対象者数	594	580	526	540	786	→	○	R2はコロナ影響により式典中止
0303	模範家庭表彰	表彰者数	2	2	1	1	-	↑	-	
0304	はつらつシニアエイジ賞授与	表彰者数	1	1	2	3	-	↑	-	
0305	慶祝訪問	対象者数	164	161	159	167	175	↑	○	
030501	ダイヤモンド婚									
030502	100歳到達者									
事業名	敬老の日関係事業ほか	年度別決算・予算額(千円)	13,046	12,453	11,790	12,606	14,197	13,633		
04	高齢者の実態把握と生活支援	利用・対象者	7,986	8,992	7,632	7,585	7,720	↑	×	コロナの影響あり
0401	ひとり暮らし高齢者調査	対象者数	2,425	1,897	1,985	2,074	2,074	↑	×	
0402	高齢者実態調査と高齢者福祉計画策定(3年毎)	対象者数		1,299					-	R1、2年度コロナ影響により調査中止
0403	高齢者の実態把握と生活支援	利用者数	47	51	49	48	40	→	×	
040301	ひとり暮らし高齢者調査									
0404	高齢者実態調査と高齢者福祉計画策定(3年毎)	地域密着型サービス利用者数	5,514	5,745	5,598	5,463	5,606	→	○	
040401	施設整備借入金の利子補助									
040402	小規模福祉施設スプリンクラー整備									
040403	小規模福祉施設建設・開設補助									
事業名	施設入所者支援事業・その他事業	年度別決算・予算額(千円)	116,997	144,982	108,350	101,969	107,502	105,699		

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう在宅福祉サービスの充実及び利用促進を図った。
 また、高齢者が主体となった通いの場やコミュニティサロン等において、生きがいを持った生活ができるよう地域の中での交流を深め、健康づくりや生きがいづくりの場としての支援を実施し、社会参加の機会を提供していたが、令和2年においてはコロナ禍により利用が減少し、事業の縮小も余儀なくされた。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 単身及び高齢者のみ世帯の増加が進むなかで、支援を必要とする高齢者は増加傾向にあることから、既存の施策を推進しつつ、高齢者が健康寿命を延ばし、いきいきとした生活を送ることができるよう、社会参加の促進と生きがいづくりの支援を実施していく。

年度	R3
シートNo	41
シート名	地域支援

業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	II 思いやりと助けあいのある暮らしやすいまち
	施策目的 (上位目的)	06 高齢者が生涯はつらつと生活できるまちになる
	施策の方向	II-06 地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住みなれた地域で、自分らしく健康でいきいきとした生活を継続するために、介護予防を充実するとともに、地域の人たちが運営する居場所やサロン運営など地域住民の自主的な活動の支援や、介護サービス、在宅福祉サービス、権利擁護など、高齢者に対する包括的なサービスが提供できるように努めます。 II-06 高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)の機能強化を図り、同センターを中心に地域の区長、民生委員・児童委員、住民、ボランティアと協働することで多様なニーズに対応するとともに、地域での見守り支援や連携体制の推進に努め、虐待の防止を図るなど、認知症の人や家族が地域で安心して暮らせるようなくみづくりに努めます。

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規	会計年度任用	再任用
		6.0	2.5	0.0
すべてのシートの合算		11.0	4.5	0.0

款	項	目	事業名	予算額
5	1	1	介護予防・日常生活支援総合事業	235,861 千円
5	2	1	包括的支援事業・任意事業	107,148 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				343,009 千円

任務目的	指標	過去の実績					目標	達成	備考
		H28	H29	H30	R元	R2			
高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立した生活を継続することができる	高齢者の自立率(%)	83.49	83.12	82.99	82.93	82.83	↑	×	高齢者の自立率=(高齢者人口-要介護・要支援認定者数)/高齢者人口

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標	達成	備考
01	高齢者の心身の状態に合わせた介護予防事業の実施	実施・活動回数合計(回)	1,656/2,423	1,660/3,443	1,379/3,441	1,285/4,515	386/4,251	↑	○	平成27年度の介護保険制度改正により、介護予防事業は、介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業と介護予防・生活支援サービス事業に再編して実施
0101	一般介護予防事業(一次予防事業)対象者に対する事業の実施	実施・活動回数合計(回)	1,656	1,660	1,379	1,285	386	↑	×	
010101	介護予防講演会や、教室を開催し、知識の普及啓発を行う									
010102	介護予防に関する地域の活動組織を支援する									
010103	社会参加活動を通じた地域の介護予防の活動を支援する									
0102	介護予防・生活支援サービスの適正なサービスの提供	利用件数(件)	2,423	3,443	3,441	4,515	4,251	↑	○	
010201	介護予防ケアマネジメントの実施									
事業名	介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防事業)	年度別決算・予算額(千円)	112,697	191,006	199,471	227,671	221,661	261,235		事業全般コロナの影響あり
02	高齢者をとりまく状況に対応する支援体制が整っている	相談件数合計(件)/開催回数合計(回)	940/29	1,293/37	1,327/30	1,189/33	964/17	↑	○	事業全般コロナの影響あり
0201	地域包括支援センターによる包括的支援体制が整っている	相談件数合計(件)	940	1,293	1,327	1,189	964	↑	○	
020101	包括的かつ効率的な介護予防事業が適切に利用できる									
020102	必要なサービスや制度が利用できる									
020103	権利擁護(成年後見制度、高齢者虐待等)に対応できる体制ができています									
020104	包括的・継続的ケアマネジメント(地域の介護支援専門員の後方支援等)の実施									
020105	指定介護予防支援の実施									
0202	ニーズに応じた適正なサービスの提供体制(関係機関との連携体制)が整っている	開催回数合計(回)	15	21	18	19	10	↑	×	
020201	地域包括ケア会議の開催									
020202	地域包括支援センターの中核的役割									
0203	地域包括支援センターの公正・中立的な管理運営の実施	開催回数合計(回)	14	16	12	14	7	→	×	
020301	地域包括支援センター運営協議会の開催									
020302	地域包括支援センター連絡調整会議の開催									
03	高齢者及び高齢者がいる家族の支援体制が整っている	教室・講演会等実施回数(回)/住宅改修等実施件数(件)	66/9	72/13	74/13	73/10	24/12	↑	○	
0301	介護の知識や技術の習得及び相談、情報交換ができる	実施回数合計(回)	16	16	16	11	1	↑	×	
030101	家族介護教室の開催									
0302	地域で支援する体制が整っている	住宅改修(件)/サポーター養成、映画等(回)	9/49	13/46	13/46	10/40	12/14	↑	○	
030201	住宅改修支援補助・住宅改修理由書作成助成									
030202	認知症サポーター養成講座の開催									
030203	認知症関係映画上映会や講演会の開催									
0303	認知症のかたやその家族が気軽に集い相談できる場所がある	開催回数合計(回)	1	10	12	22	9	↑	○	
030301	認知症カフェの開催									
04	地域住民がお互いに支え合う場ができています	実施か所数(か所)	3	22	26	32	34	↑	○	
040101	通いの場の立ち上げ支援、運営補助									
05	医療と介護の両方を必要とする高齢者の支援体制が整っている	相談件数(件)	-	294	446	346	334	↑	○	平成29年度から実施 館林市邑楽郡内の一市五町による業務委託
050101	在宅医療、介護連携に関する相談支援									
事業名	包括的支援事業・任意事業	年度別決算・予算額(千円)	67,066	80,507	82,900	105,293	102,403	107,148		事業全般コロナの影響あり

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括
 介護予防・生活支援のサービスは訪問型サービスA・Bは平成31年1月から、通所型サービスAは令和元年12月から開始、介護予防事業の実績も増加。地域包括支援センターは平成27年度から4包括に事業所を増加し、相談件数も3倍に増加。在宅医療・介護連携推進事業は平成29年4月から1市5町で医師会委託開始。生活支援体制整備事業は、令和2年度から社協委託開始。認知症対策は、認知症初期集中チームが平成29年2月、認知症カフェが平成29年3月、認知症疾患医療センターが平成30年10月から開始。自立支援型地域ケア会議も令和元年から開始。各事業、活発に運営されていたが、令和2年においてはコロナ禍により、サービス利用が減少し、事業の縮小も余儀なくされた。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等
 令和3年3月に策定の「館林市第6次総合計画」の「地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち」を踏まえた、同年3月に策定の「館林市高齢者いきいきプラン(館林市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画)」に基づき、介護や医療の分野を超え、また支える・支えられるという立場を超え、高齢者の健康維持、介護保険制度の健全な運営、認知症の方への支援、高齢者の権利の擁護等幅広い課題に対応していく。